

皇學館大學史學會講演会

え ど じ だ い し ょ き よ う だ ぶ ぎ ょ う

江戸時代初期の山田奉行

山田奉行は、江戸幕府が伊勢神宮や、検地の実施を免除された神領などに支配を及ぼすため、慶長8年(1603)設置されたといわれています。しかし初期の奉行は、制度として確立した山田奉行とは性格を異にし、伊勢国奉行としてより大きな権限を有していたと思われます。従来の山田奉行のイメージとは相違した位置づけを試みます。

講師 上野 秀治 本学文学部国史学科教授

日時 1月28日(月)午後4時30分～6時

場所 本学231教室(2号館3階)

三重県伊勢市神田久志本町1704番地 皇學館大学内

※聴講無料。全席自由。事前のお申込は必要ございません。

※駐車場のご用意を致しかねますので、公共交通機関等をご利用ください。

* 講師紹介 *

上野秀治(うへの・ひではる) 本学文学部国史学科教授

昭和24年東京都生まれ。昭和52年3月学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻博士課程単位取得退学(文学修士)。徳川林政史研究所研究員、日本学術振興会奨励研究員などを経て、昭和54年4月本学講師。昭和59年4月助教授、平成5年4月より教授。

平成9年度～16年度国史学科主任、同17年度～20年度本学史料編纂所長、同21年度～国史学科主任。専門は日本近世・近代史 ことに大名生活史、華族制度史。

主な編著書

『香川敬三の研究』(平成3～5年度科学研究費補助金研究成果報告書 平成4年)

『大岡越前守忠相』(皇學館大学講演叢書81、皇學館大学出版部 平成7年)

『「岩倉公実記」編纂過程における歴史観の形成』(平成13～15年度科学研究費補助金研究成果報告書 平成16年)

『三重県の歴史』(共著 山川出版社 平成12年)

『図録 香川敬三関係史料の世界』(皇學館大学出版部 平成24年)

『四日市市史』第8,9,10,17巻(共編 四日市市 平成3,5,8,11年)

『三重県史 資料編』近世1、近世4下、近世2、近世3上、近世3下(共編 三重県 平成5,11,15,20,24年)

『多度町史 資料編』2近世(多度町 平成16年)

バーバラ寺岡著『幕末の桑名』(監修、桑名市教育委員会 平成18年)

『桑名のいろは(桑名ふるさと検定)』(監修、桑名商工会議所 平成19年)

『関口隆吉関係書簡集』(監修、静岡県立中央図書館 平成21年)

ほか多数。

(村上政太郎『三重県史談』(崇文堂、明治26年)より)

※ 本件に関するお問い合わせは、文学部国史学科研究室(3号館3階、0596-22-6456)まで